

遠藤 暁及 りょうきゅう

## 危険な極楽、アースキャラバン(11)

# 地球温暖化と原子力ビジネス



↑グレタとゴアの写真：グレタのINSTAより 2018.12.31 Thank you @Algoa.True pioneer. ♪ 書いてくさず。

地球温暖化問題について書くと自分の評判が悪くなることは、最初からわかっていた。”今や、地球温暖化CO2原因説を否定すると、気候学者は仕事を失う”とまで、マーク・モラノはその著書で述べている。(注1)

幸い僕は、気候学者ではない。自分の評判が悪くなるだけ済む。とはいえ僕にしても、あまり人に嫌われたくはない。だから、この問題について述べるのは、特にご要望でもない限り一応、本号をもって終了としたい。

ただ現実問題がある。地球温暖化反対運動の結果、現在はヨーロッパの世論ですら、原発容認の流れに向かっていくのだ。(注2)

また現在、地球温暖化対策費用として、想像をはるかに超える巨額の税金が使われている。そこでつい僕は、“原発なんて冗談じゃない！ それに、そんなお金があれば、子供の貧困、ワーキング・プア、待機児童の問題など、すべて解決するじゃないか！？ 大学まで含めて、教育費はすべて無料にする！！”と言いたくなってしまった。“温暖化で地球が減びても良いのか！？”と叱られてしまいそうだが)

今回はセンシティブな内容なので、すべての情報源を明らかにすることにした。いずれも身元が確かなもののみ取り上げた。ご精査下さればありがたい。では、DR ノビとの対談を始めよう。

○りょうきゅう：日本は年間2600億円以上を「温暖化対策費」として計上しています。ただしそれは公式の話で、実際には、毎年5兆円が飛びかっています。1日にすれば140億円です。(注3)

一方、安倍政権の子どもの貧困対策である「地域子供の未来応援交付金」(2018年度)は、年間1億5千万円です。(注4)これは1日50万円弱です。子どもの貧困対策費は、温暖化対策費の実に0.003%です。

●ドクター NOBI：環境省の温暖化対策費は、国際的CO2排出取引などにも使われています。この手数料がどこに行くのかと言うと、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の元議長、ラジェンドラ・パチャウリが顧問をしている銀行なんです。(注5)

○りょうきゅう：1988年に設立されたIPCCの初代議長バート・ボリンは、「2020年(注：今年です)に海水面は、60~120メートル上昇する。ロンドンもニューヨークも水没する」と予測していました。(注5)今は「2100年までに、海面は2メートル上昇」と訂正していますが。(注6)

●ドクター NOBI：グレタが活動の根拠にしているのも、このIPCCです。だから彼女は自身のフェイスブックで、「(前略)私は個人的には反対だけど、IPCCによれば(中略)」原発は、脱炭素のためのエネルギー問題解決のための小さな一部になり得る。これについて議論するのは、様子を見てからにしましょう(後略)」と投稿しています。(注7)

○りょうきゅう：地球温暖化提唱者と原発推進派の繋がりは、ドキュメンタリー映画「不都合な真実」(制作：元アメリカ副大統領アルゴア)の頃から、指摘されてきました。(注8)しかもあの映画は、イギリス高等裁判所でも『9つの部分で科学的根拠が乏しく、誤りがある』と判決が出ています。(注9)

●ドクター NOBI：最近マスコミは、温暖化を「気候変動」という言葉にすり替えました。それは、本物の気候学者や海洋学者は、温暖化CO2原因説を相手にしていないからです。(注10)

○りょうきゅう：原子力専門家の小出裕章教授にしても、「地球温暖化問題は科学的な根拠が薄弱」と述べています。(注11)科学者共同体が48集まってできた日本地球惑星科学連合のシンポジウム(2008年)でも、CO2温暖化説は多方面から科学的に批判されました。(注12)

ジャーナリストの広瀬隆さんは「中学校程度の理科レベルで、地球温暖化CO2原因説は虚偽であることはわかる」と言われています。にも関わらずその虚偽が広まったのだとしたら、一体誰がどのように、何のために行ったのか……？

●ドクター NOBI：自分で調べることがで

きます。地球温暖化の提唱者たちと、原子力ビジネスとのつながりを調べるなら、「IPCC 原子力」で検索するとわかりやすいです。もっと知りたければ、「アルゴア 原発 グレタ」の内、どれか2つを選んで検索し、ヒットした中から、信頼性のある記事を選びます。そこで出たたくさんの用語や人物を、さらに検索していきます。そうして、事実関係を丹念に拾っていくと、一見、別々に見える人々や出来事の様々な繋がりがわかって来ます。

するとマスコミが決して伝えない、裏のシナリオが見えてくるのです。そうなる例えば、「アルゴアがグレタの後援者である」ことの裏付けまで取れます。(注13)なにことも真実は、自分で調べなければ分かりません。

### < 情報源 >

\*検索する場合は、スラッシュ右の文字も入れてください。

- 1) 「地球温暖化」の不都合な真実/日本評論社
- 2) 産経新聞(2020年1月28日) / 【激動ヨーロッパ】温暖化対策で原発
- 3) JBpress 記事(2019年11月15日) / 「温暖化対策」100兆円をドブに
- 4) 日刊現代(2018年1月13日) / 子どもの貧困対策を民間に丸投げ
- 5) AERA.メルマガ(2019年8月21日) / 広瀬隆「二酸化炭素温暖化説の嘘」
- 6) BCC ニュース(2019年05月21日) / 海面上昇、従来予測の2倍に
- 7) Beyond Nuclear/Greta Thunberg on nuclear power
- 8) 週刊朝日(2008年8月15日号) / 『ゴア元副大統領と原発利権』
- 9) リアルライブ(2008年8月15日) / 「不都合な真実」9つのウソ
- 10) 「気候科学者の告白」中村元隆著(Kindle版)
- 11) 京都大学複合原子力科学研究所(2010年1月19日) / 「終焉に向かう原子力と温暖化問題」小出裕章
- 12) 東京大学教養学部報(第517号) / 科学論争としての「地球温暖化」問題
- 13) NEW EASTERN OUTLOOK 誌(2020年1月27日) / Follow the Real Money Behind the New Green Agenda

★参考資料のURLが分からない人は、編集部にお問い合わせ下さい。

★このテーマについて読者の反応を期待しています。投稿あれば次号に載せる予定です。